

# 地域の身近な相談役

## 民生委員・児童委員



5月12日は民生委員・児童委員の日  
 民生委員制度は今年100周年を迎えます



大川目地区民生児童委員協議会の皆さん

民生委員・児童委員とは？

「民生委員・児童委員（以下、民生児童委員）」は、民生委員法と児童福祉法に基づき厚生労働大臣から委嘱された地域福祉の推進役です。今年で100年を迎える日本固有の福祉ボランティアとして、地域で活動しています。

どんな活動をするの？

わかりやすく言うと、日常生活の困りごとの身近な相談役です。行政や福祉機関の提供するサービスを必要とする人に、制度や利用方法などを伝え、関係機関につなげます。高齢者や心身に障がいがある人、育児や子どもの問題、生活に支援が必要な人など、あらゆる相談に応じ、地域全体の見守りや訪問活動を日常的に行っています。

私の地域にもいるの？

人口に応じて、地区や委員定数が定められており、各地区1人の委員が配置されています。また、子どもに関する相談や支援を担当する主任児童委員は複数の地区にまたがって広く支援を行います。市内には8地区の民生児童委員協議会が組織され、120人の民生児童委員と16人の主任児童委員が活動しています。

人に知られたくないから…

民生児童委員には、法律で守秘義務が定められています。相談した内容の秘密は守られます。介護や健康、子育てなど、生活する中で気になっていることがありましたら、お住まいの地域の民生児童委員に気軽にご相談ください。



大川目地区 民生児童委員協議会 兼田 貞男 会長

どこに問い合わせれば？

お住まいの地区を担当する民生児童委員については社会福祉課にお問い合わせください。  
 社会福祉課 ☎ 52-2119

地域の安全安心のために

民生児童委員は、日常から法律、健康、制度などの相談を受けています。市や社会福祉協議会と連携した地区定例会を二カ月に一回開催し、より良い対応ができるよう取り組んでおります。住みなれた地域が安全・安心して暮らせるように、活動していきます。遠慮せずにご声をかけてください。

## 地区と行政をつなぐパイプ役 行政連絡区長を委嘱しました

市では、次の132人を行政連絡区長に委嘱しました。本年度から2年間、各地区の皆さんと行政をつなぐパイプ役として活動していただきます。転出入や転居などの際は、区長にも連絡をお願いします。

生活環境課 ☎ 54-8003

地区名	行政連絡区長の氏名（敬称略）
久慈	【川貫】◇村田幸朗◇米沢玲子 【西の沢】澤里久 【荒町】外里壽 【八日町】三船進一 【十八日町】柿崎安夫 【二十八日町】田高晋 【中町】米内理 【新町】類家勉 【巽町】田高善男 【柏崎】柏崎光廣 【本町】日向清治 【川崎町】村田東助 【駅前】高松一男 【表町】金久幸雄 【中の橋】大澤友一 【新中の橋】山王義明 【田屋町】小上一治 【新井田】弥藤栄悦 【湊町】◇佐々木明津志◇佐々木喜美雄◇七十苺良一 【源道】佐々木八彌 【旭町・京の森】嵯峨松男 【門前】◇西政弘◇畑田照雄 【天神堂】◇藤原隆雄◇吉田定子◇鍛冶畑百々典 【栄町】◇伊藤政文◇内久保証一 【寺里】◇坂本義嗣◇工藤勝男 【沢里・畑田】◇畑田邦博◇森俊幸 【枝成沢・大川目町長久保】◇石川一寛
小久慈	◇堀内隆◇水上茂◇和野芳三◇鹿糠孝男◇中村アツ子◇上野美重子
長内	◇中平信正◇八屋弘志◇橘一彦◇勝田守◇菊地秀一◇西前一雄◇田老雄一◇岡田英雄◇中野禎悦◇外道操◇坂下明男◇濱欠明宏◇新井谷幸夫◇廻立松太
大川目	◇川口則男◇工藤忠藏◇小倉龍一◇外館孝◇吉田喜藏◇長畑隆史◇面代二三男◇米内竹男◇藤森智◇小倉明◇田表重男◇馬内弥太郎◇大下正◇藤森善次郎
夏井	◇夏井俊勝◇川代由勝◇水堀昭雄◇小田由春◇上川原勇◇新井野勉◇大内田繁◇岡田勉◇西村義夫◇宮澤千代治◇下道喜佐雄◇工藤良子◇下野勝雄◇佐々木富明
宇部	◇川原一男◇澤里俊昭◇滝澤兼松◇宇部修◇中村芳治◇沢里修◇外館悟◇宇部繁◇仲村哲身◇崎山幸雄◇村塚繁好◇櫻庭松美◇宇部金之蔵◇古山宗司
侍浜	◇小向進◇桑田辰治◇西村秀雄◇浅水満男◇佐々木功◇谷崎修一郎◇菅原忠信◇菅原淳一◇大坪清◇中屋敷進◇本波茂男◇舛森利之
山根	◇伊藤敬太郎◇松野下富則◇畠山鉄雄◇小上好文◇伊藤恵子◇畠山松美◇大倉博美◇遠川保雄◇馬渡幸子
山形	◇二橋修◇関利行◇鹿糠信夫◇角一志◇下道徹男◇小笠原祥之◇皆川紀夫◇松坂重男◇二又武志◇下館靖◇中村昇◇茅森勉◇中屋敷とも子



認証書を受け取る下館理事長（右）

## NPO法人ウィズ友 設立認証 就労への一歩を後押し

4月10日、市は「ウィズ友」（下館正則理事長）を市内で18番目の特定非営利活動法人に認証しました。ウィズ友は就労継続支援B型事業所の開設を目指して現在準備中。障がい者を受け入れ、市内の事業所から受託した作業を通じ、就労に必要な知識や能力の取得と向上を図るための支援を行う予定です。

認証書を受け取った下館理事長は「障がい者の就労への一歩を後押しするため、作業の充実を図り、利用者が生きがいを感じながら働ける施設を目指します」と抱負を語りました。



研修を終え充実の表情を見せる参加者

## 新卒者の合同研修会 同期の交流を深める

3月30日、市内の事業所へこの春からの採用が内定した新卒者を対象にした研修会が市役所で開催され、7社から13人が参加しました。

参加者は講義に続きブロック玩具を活用したグループワークを実施。社会人としての心構えやコミュニケーションについて理解を深めるとともに、市内で働き始める「同期メンバー」として思いを分かち合い、新卒者同士の交流を深めました。